

7年度の主な事業

急激な物価高騰への対応

・省エネ家電への買い替えを促進

…

998万円

・プレミアム付き商品券事業を支援

…

4,433万円

・高校生世代の医療費を無償化

…

6,180万円

・住民税非課税世帯に給付金を支給

…

1,657万円

・定額減税補足給付金(不足額給付)を支給

…

2億6,328万円

・介護サービス施設などに対し、光熱費などの価格高騰分を支援

…

319万円

小・中・特別支援学校の学校給食費の食材価格高騰分および2、3学期分の給食費半額分を支援

(并当持参者への助成含む)

9,801万円

教育のまちの推進、三木ブランドの魅力向上、安心して暮らせるまちづくりに関する取組

・クリーンセンターの大規模改修

…

16億2,239万円

・消防署吉川分署を移転、建替え

…

4億1,879万円

・道の駅よかわの整備を実施

…

1億6,373万円

・公共施設の照明をLED化

…

1億 981万円

・切れ目のない妊娠から出産・子育て支援の充実

…

4,567万円

・デマンド型交通運行エリアの拡大

…

2,673万円

・2025大阪・関西万博における金物鷺の展示、地域資源のPR

…

671万円

・中小企業の職場環境改善および若手人材確保を支援

…

348万円

・地域おこし協力隊による持続可能な農村地域の形成を推進

…

300万円

・救急安心センター事業(#7119)を開始

…

221万円

団地再生事業～青山7丁目団地再耕プロジェクト事業の推進

13億5,000万円

部活動の地域クラブへの展開を推進

521万円

将来につないでいく財政運営(財政健全化の取組)

計画の基本方針	令和7年度の取組効果額		
	実績(A)	計画(B)	差引(A－B)
収入の確保	1億2,388万円	2億5,340万円	△1億2,952万円
支出の見直し	3億4,462万円	3億8,768万円	△4,306万円
計	4億6,850万円	6億4,108万円	△1億7,258万円

主な取組内容		取組効果額
収入の確保	ふるさと納税の更なる推進	8,229万円
	市税の徴収率の向上	4,190万円
支出の見直し	一般会計から国民健康保険特別会計への赤字補てんのための繰出金の廃止	1億9,449万円
	市民福祉年金の廃止	5,645万円

市が財政的にまだ体力のあるうちに財政健全化に向けた取組を進め、将来にわたり持続可能な財政基盤を確立するため、「三木市財政健全化計画」を令和4年度に策定。5年間(4～8年度)の対象期間を定め、収入の確保や支出の見直しに取り組んでいます。

今後の取組の方向性

令和3年度から5年度までは市の基金(貯金)は増加していましたが、物価や人件費の上昇などにより6年度に引き続き、7年度も減少しました。

8年度以降の財政収支の見通しとしては、物価高騰や人件費の上昇などにより、歳入および歳出ともに増加するものの、歳出が歳入を上回り、基金の減少が進むことが見込まれます。

このため、第2期財政健全化計画を8年度中に策定し、基金の減少を抑えながら財源を確保します。加えて、次期ごみ処理施設や中央公民館等複合施設、施設一体型小中一貫校の大型事業などの整備をはじめ、将来のまちづくりに必要となる新たな施策を推進します。

令和7年度

決算見込の概要

三木市のお金の使い方、入り方

三木市にどのくらいの収入があり、どのように使われたのかについて、令和7年度の決算見込の概要と財政状況をお知らせします。

問・(市)財政課 財政係

・(市)経営管理課 経営管理係

市の財政状況(一般会計)

歳入

422億5,561万円

(うち基金繰入額 8億円)

(収入)

令和6年度 391億715万円

31億4,846万円

歳出

419億1,008万円

(支出)

令和6年度 382億452万円

37億556万円

市債(借金) 320億円

償還額と比べて、新たに借り入れた市債の発行額が僅かに上回ったものの、6年度と同程度となりました。

市債残高の推移

年度	市債残高(億円)
R3	377
R4	357
R5	337
R6	320
R7	320

基金(貯金) 65.2億円

6.7億円を積み立てましたが、8億円取り崩しましたので、6年度より1.3億円減少となりました。

基金残高の推移

年度	基金残高(億円)
R3	60.5
R4	64.6
R5	67.9
R6	66.5
R7	65.2

物価高騰による子育て世帯や低所得者などへの給付金の支給や多世代交流施設「ヒトトキミキ」の整備など建設事業費の増加により、歳入・歳出ともに過去最大の規模となりました。

また、人事院勧告に基づく給与改定や物価高騰により歳出が大きく増加したことなどから、基金8億円を取り崩しました。

歳入から歳出の差引額と翌年度へ繰り越す額を除いた実質収支は1・8億円の黒字となっています。

特別会計

保険税を徴収している国民健康保険事業などは、一般会計と区別し、特別会計として個別に会計処理をしています。

会計名	歳入	歳出
国民健康保険	83億6,039万円	82億4,191万円
介護保険	81億5,288万円	81億3,115万円
後期高齢者医療事業	18億7,358万円	18億3,124万円
学校給食事業	3億 611万円	3億 576万円

◎国民健康保険特別会計の決算見込の詳細は、12ページを確認してください。
◎企業会計(水道・下水道)の決算については、広報みき11月号でお知らせします。

国民健康保険特別会計は、「三木市国民健康保険財政健全化計画」に基づき取組を行いました。

介護保険特別会計は、要介護認定者数の増加に伴い、介護給付費が前年度より1・6億円増加したため、基金を7,000万円取り崩しました。

11 三木市役所・〒673-0492 上の丸町10-30・☎82-2000 吉川支所・〒673-1192 吉川町大沢412・☎72-0180 【開庁時間】平日午前9時～午後4時30分

9月1日(火)から開庁時間が変わりました。

広報みき | 2026.9 10